

ひやまりサイクル工作コンクール

檜山振興局・檜山造形教育研究会

<取組の概要・特色>

檜山振興局では、身のまわりの不要品を再利用した工作をとおり、「物をできるだけ長く使う」「使えなくなった物は資源に回す」という意識の普及啓発を図ることで、地域のリサイクル活動及び環境行動の実践を推進するために、檜山造形教育研究会の協力を得て、平成 10 年度から檜山管内の小学生を対象に作品募集、管内各町での作品展示会を実施しています。

平成 27 年度までの 18 年間で、作品応募者数は延べ 4,660 名となっています。

■平成 27 年度の実践例

6 月に檜山管内の全 22 校、1,540 名を対象に募集した結果、9 月までに 19 校、307 名から応募がありました。

コンクールを開始した平成 10 年度の応募割合はわずか 2.2%でしたが、近年は 20%前後で推移しており、平成 27 年度も 19.9%の応募割合となりました。

■実施内容

10 月に檜山造形教育研究会と檜山振興局による応募作品の審査会を開催し、入賞作品 19 点を決定するとともに、振興局の 1 階ロビーで入賞作品の展示会を行いました。

さらに 10 月から 11 月には檜山管内の各町の文化祭等にあわせ、それぞれの町ごとに全作品を展示するとともに、金賞受賞者校での表彰式を行いました。

これらの様子は振興局のホームページに掲載したほか、新聞でも取り上げられました。



(檜山振興局での入賞作品展示)



(今金町民センターでの町内全作品展示)



(各学校で入賞者の表彰)

<推奨理由>

18 年間にわたり継続実施する中で、夏休みの自由研究などとして、学校・児童はもとより地域にも定着した取組となっています。

応募全作品を管内各町で広く展示することで、児童の意欲の増進が図られているほか、地域全体のリサイクル活動及び環境配慮行動の実践にもつながっています。